

事務事業名		女性団体等活動支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	5 市民みんなで作る夢のあるまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり						担当係	担当係	男女共同参画係	担当課長名	小菅 誠	
	施策	2 個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	3 男女共同参画の意識づくりの推進						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名							
	2073	一般	2	1	15	女性団体等活動支援事業							
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H11年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市男女共同参画推進 条例							
						市単独事業・国県補助事業	市単独事業						
						任意的事業・義務的事業	任意的事業						
						実施方法	直営						
						事業分類	支援事業						
						リーディングプロジェクト	該当なし						
						市長マニフェスト	該当なし						

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
男女共同参画ネットワークさのに補助金を交付している。また、ネットワークさのと共催で講演会を開催したり、団体主催の会議や研修会の開催を支援し、男女共同参画社会の実現を市民(団体)との協働で取り組んでいる。	(市の活動)男女共同参画ネットワークさのに補助金の支出、年11回の役員会・代表者会への出席、男女共同参画講演会、研修会等への開催支援。関連研修会等参加の際の市バスの運行支援。						
	(会の活動)安足地区人権教育指導者一般研修(6/5)、人権教育指導者養成講座(7/30)への参加、市長との懇談会の開催(10/14)、市イベントでの啓発活動(11/2)、男女共同参画講演会の開催(1/17)、市審議会等への委員派遣。						
* 男女共同参画ネットワークさの…市内の女性団体等の連合体であり、男女共同参画社会の実現をめざし活動している。	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	補助団体数	団体	1	1	1	1	1

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

男女共同参画ネットワークさの	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	補助対象団体数	団体	1	1	1	1	1

目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

男女共同参画ネットワークさのの円滑な運営と財政の健全化を図る。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	支出割合(支出決算額/収入決算額)	%	87.2	97.2	95.0	95.0	95.0

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

男女共同参画の理解を深めている。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	男女共同参画講演会、研修会 延べ参加者数	人	463	549	375	380	385

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	430	430	430	430	430	
	事業費計(A)	千円	430	430	430	430	430	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	430	補助金	430	補助金	430
	人件	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
のべ業務時間	時間	430	430	430	430	430		
人件費(B)	千円	1,673	1,695	1,695	1,695	1,695		
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,103	2,125	2,125	2,125	2,125		

事務事業名	女性団体等活動支援事業	担当部	市民生活部	担当課	人権・男女共同参画課	担当係	男女共同参画係
-------	-------------	-----	-------	-----	------------	-----	---------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	旧田沼町で平成11年に「パルティンぐたぬま」が、旧佐野市では平成13年に「佐野市女性団体連絡協議会」が、旧葛生町では平成15年に「葛生町女性団体連絡協議会」がそれぞれ設立され、各市町で支援が始まった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国では、平成26年10月に安部首相を本部長とする「すべての女性が輝く社会づくり本部」を設置し、様々な施策を展開している。また、県では、7月に「県政に女性の意見を反映させたい」との知事の意向で「県女性活躍推進会議」を設置した。しかし、県の男女共同参画に関する意識調査では、社会全体の中で男女の地位の平等感について「平等」と答えた割合が11.6%となり、5年前の18.5%からより6.9ポイント減少した。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	「男女共同参画ネットワークさの」の会員が年々減少しているため、会員が増えるような対策を行政と連携して取ってほしい。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	女性団体の活動を活性化させるためネットワークさのと連携して、加入団体の個々の会員にも事業内容や男女共同参画講演会等の大きなイベントについて周知できるようにチラシを配布したり、情報紙等に掲載するなど支援を図った。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	「男女共同参画ネットワークさの」の活動が充実することで、加入団体(会員)の意識が高まることともに、新たな加入団体の獲得にもつながり、男女共同参画活動の支援と推進体制の整備が進むものと考えます。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	男女共同参画社会の実現は、国において緊急かつ重要な課題とされ、国及び自治体が行うべきものとされている。しかし、行政だけではその実現は難しく、市民(団体)と協働することで、実現がより促進されるものと考えます。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	男女共同参画社会の実現を目指す団体の活動であり、妥当であると考えます。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	合併により新組織に移行して10年が経過したが、運営は役員を中心に行っており、負担が集中しているようである。今後は、加入団体の代表者も運営に参画してもらうなど、体制強化と雰囲気づくりを行っていくことにより、さらに成果向上が見込めるものと考えます。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名 単独の女性団体を支援する事業はあるものの、男女共同参画社会の実現を目指す複数の団体で組織された団体に対し支援する事業はない。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は団体への補助金のみであり、団体の運営が軌道に乗るまでは、これ以上の削減の余地はないと考えます。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	活動支援という内容であり、受益者負担にはなじまないと考えます。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 男女共同参画社会の実現のためにも、当面、支援の廃止・休止することはできないものと考えます。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																				
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ネットワークさのの活動を活性化させるため、引続き個々の会員を対象に事業内容や男女共同参画講演会等の大きなイベントについて周知が行き届くようにチラシを配布したり、会員募集のお知らせを情報紙等を通じて周知したりするなどの支援が必要である。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上		○		維持			×	低下		×	×	ネットワークさのの活動を活性化させるためには、会員に関心を持つような内容になるようにさらに工夫が必要がある。
	コスト																					
	削減	維持	増加																			
向上		○																				
維持			×																			
低下		×	×																			